

令和元年度置賜地域保健医療協議会在宅医療専門部会の概要

開催状況

- ・ 第1回在宅医療専門部会 令和2年1月31日 置賜総合支庁講堂で開催 36名出席
(米沢・東置賜・西置賜の各ブロック会議との合同開催形式)

1 協議した主な内容の概要

(1) 置賜地域在宅医療の推進に関する実態調査の結果について

(看取りの実施、福祉現場における医療提供体制、歯科との連携の3つの課題について、病院、介護老人保健施設、介護老人福祉施設、グループホーム、有料老人ホームに対して調査を実施)

- ・ ACPを実践している病院が思ったより多かった。ICと混同しているのではないかと。
- ・ 看取りを開業医だけで行う場合、死亡する24時間前に本人を診断していないと死亡診断書は書けない。死亡検案書の作成となる。
- ・ 昔から比べると、有料老人ホームやグループホームでも看取りが増えてきたと感じるが、看取りの人数はまだ少ないことが課題である。
- ・ 有料老人ホームとグループホームで訪問看護の利用状況が他と比べて差がある。もっと福祉の場にも訪問看護が入ることによって看取りが進むのではないかと。
- ・ 有料老人ホームやグループホームでは、医療保険による訪問看護についてはあまり積極的に導入されていないように感じる。
- ・ 老人福祉施設には歯科医師が予想以上に多く入っている。グループホームと有料老人ホームは(まだ少ないので)これから積極的にアピールしていかなくてはならない。ただ、現在口腔ケアを担う歯科衛生士が不足していることが課題である。

(2) 置賜管内における「在宅医療・介護連携拠点」の状況について

- ・ 南陽市東置賜郡医師会では、かかりつけ薬剤師を推進している国の方針に倣って薬剤師との医薬連携ミーティングを開催している。
- ・ 医薬連携ミーティングは素晴らしい取り組みだと思うので、他の地域にも広げてほしい。

(3) 置賜総合支庁の栄養支援事業について

- ・ 日本摂食嚥下リハビリテーション学会の嚥下調整食分類2013に基づき、管内の15病院の栄養士で協議し、病院の食形態の一覧表が作成された。保健所HPにおいて、各病院の一覧表にリンクしているので活用願いたい。これからは福祉施設の栄養士の横の連携も図っていきたい。